

## ようこそ乙川へ！

乙川は岡崎市のほぼ中央を流れる、岡崎市民の暮らしになくてはならない大切な川です。近年、QRUWAエリアの動きに合わせて、遊歩道や公園などの整備が進み、散歩やランニングなど日常的に楽しむことができるような場所になりました。このパンフレットでは、そんな乙川河川緑地の魅力をふんだんに紹介しています。ぜひ、乙川に遊びにお越しください。



桜や花火

春には乙川沿いの桜が一斉に開花し「桜まつり」が開催されます。河川緑地内には屋台やキッチンカーが並び、市内はもちろん市外県外からたくさんの方がお花見に訪れます。また、夏には江戸時代から続く、菅生神社の祭礼を起源とする花火大会が行われます。三河花火の技術を活かした仕掛花火、金魚花火、スターマインなど、バラエティに富んだ花火を楽しみに全国からたくさんの方が観光に訪れます。



市民の憩いの場

近年、河川緑地内の遊歩道が整備されたことにより、より多くの市民が日常的に利用する姿が見られるようになりました。朝はランニングや犬の散歩をする人、昼にはお弁当を持ってランチを楽しむ人や魚に餌をやる姿が見られます。そして、夕方になると学生がダンスの練習や友人との語らい場所として使い、夜にはフットライトが灯り、多くのカップルや友人同士で過ごす姿が見られます。



私たちの暮らしの水

乙川は風景としての「川」だけではなく、岡崎の水道水の半分程度をそこから取水し、農繁期には矢作川との合流地点の水門（乙川頭首工）が閉まり、農業用水の取水もされている、市民の暮らしを支える大切な水源です。また、春から夏にかけては岡崎城下を舟が運航し、市民や観光客を楽しませたり、川を愛する市民等により定期的な河川美化活動が行われたりと、私たちの暮らしに欠かすことのできない存在です。

## おとがわかせんりょくち 乙川河川緑地 Otogawa Riverside Green Space



## 乙川の魅力を高める、民間プロジェクト募集中！ 乙川リバーライフプロジェクトのご紹介

乙川リバーライフプロジェクトは、岡崎市が定める乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（通称：QRUWA戦略）の一環で進められている乙川河川緑地を対象エリアにした水辺空間活用プロジェクトです。乙川という公共空間を安全に配慮した利用ができるようルールなどを定め、エリアの魅力を高める活用プロジェクトを民間事業や市民団体等とともに実施しています。



以下のような使い方をされる場合は指定管理者にご連絡ください

- ☐ イベントを開催する  
例) 河川敷をつかってマルシェやアクティビティの体験を実施したい
- ☐ 音響機材を使用する催しを開催する  
例) 音楽イベントやマイクをつかった催しを実施したい
- ☐ 金銭の授受が発生する催しを開催する  
例) 参加費、入場料、物販、体験料等、金銭の授受が発生する催しを実施したい
- ☐ その他、特殊な使い方（火気の使用、宿泊）が伴う催しを開催する  
例) キャンプ・BBQ企画等の特殊な使い方に伴う催しを開催したい

料金や利用までの流れはウェブサイトをご確認ください



## 許可（事前申請）のいらない、まちの風景を彩る、自由な使い方！

以下の利用は事前の申請はいりません。天気の良い日にご家族やご友人とともに乙川に遊びにきていただき、新しい日常を生み出しましょう！



## 自然と都市が交わる暮らし おとがわエリアビジョンを公開しています

将来像やそれを実現するための合言葉・具体アクションを「おとがわエリアビジョン」としてとりまとめ公開しています。将来像以外にも、様々な思いをもって、乙川で活動する民間事業者や市民団体の方々の活動も紹介されていますので、ぜひご覧ください！



### お問合せ

〔指定管理者〕（乙川河川緑地）  
●リバーライフ推進委員会  
●ホーメックス・スノーピークビジネスソリューションズ 共同企業体  
岡崎市龍田町 15 三徳屋ビル 2F  
☎ 070-3797-4447 ✉ okazaki@homex-co.com  
〔岡崎市公園緑地課〕  
☎ 0564-23-7406 ✉ koen@city.okazaki.lg.jp





## 乙川河川緑地ってどんなところ？

吹矢橋公園から新乙川河川緑地までを含む乙川河川数一体のエリアをさします。東西に乙川が流れ、まちの中心部にありながら自然を感じられる場所です。

### 新乙川河川緑地

「乙川ローラースポーツ場」と「テニスコート」があります。ローラースポーツ場はどなたでも利用することができます。テニスコートは事前予約制です。乙川沿いの自然の中でスポーツを楽しむことができる人気のスポットです。



### 伊賀川

乙川に合流する小さな川です。ここから伊賀川を遊っていくと「岡崎市図書館交流プラザリぶら」や「伊賀八幡宮」まで歩いていくことができます。乙川よりも川幅が狭く、夏には子供たちが遊ぶ姿がよく見られます。



基礎情報 水系 一級水系 矢作川 種別 一級河川 総延長 34km 流域面積 258km<sup>2</sup>

乙川は、岡崎市と新城市の境に位置する巴山を水源とし、山間部を流れ、岡崎市茅原沢町で「男川」と合流後、岡崎市の中心市街地を貫流して矢作川に合流する一級河川です。

### ひょうたん池

親水を目的に整備された二つの池があります。一つには飛び石ができます。池の中には多くの生き物が生息していて、暖かくなると、網を持った子供たちが生き物を探しにやってきます。



### 殿橋テラス

殿橋とともに設置された常設のオープンスペース。岡崎市の整備により令和3年に完成しました。河川敷への誘導や官民が連携して川とまちをつなぐ水辺拠点となり、新たな文化を生み出す場所としての利用が期待されています。



### 殿橋

昭和2年に完工した乙川に架かる橋梁。当時では最新鋭の鉄筋コンクリート造で作られており、かつては中央に複線の市電が走っていました。特徴的な親柱は岡崎市産の御影石で作られており、今もなお市民に愛される土木遺産です。



## 乙川をもっと楽しむために、これだけは知っていて！

### 花火はやっていいの？

夜9時までは、乙川河川緑地内のエリアは花火を持ち込んで楽しむことができます。楽しんだ後は、火の始末やゴミの持ち帰りをお願いします。



### カヌーやSUPをしてもいいの？

持参したカヌーやSUPであれば、どなたでもお楽しみいただけます。ただしライフジャケット着用等の安全管理はきちんとし、安全に楽しみましょう。



### 乙川って泳いでもいいの？

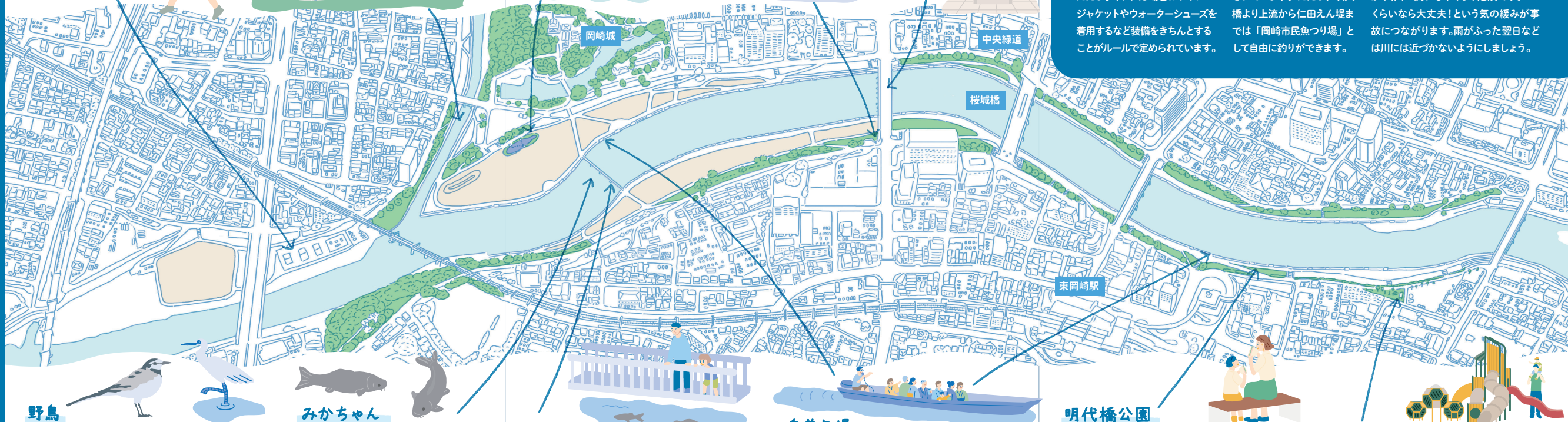
遊泳禁止エリアではありません。ただし水中に入る場合はライフジャケットやウォータースーツを着用するなど装備をきちんとしてルールで定められています。

### 釣りはしていいの？

乙川河川緑地内は釣りは禁止されています。ただし、吹矢橋より上流から仁田えん堤までは「岡崎市民魚釣り場」として自由に釣りができます。

### 雨のふった翌日などや流れが早い時には近づかない

たくさん雨がふった翌日などは水位があがり、川の流れも早くなり危険です。このくらいなら大丈夫！という気の緩みが事故につながります。雨がふった翌日などは川には近づかないようにしましょう。



### 野鳥

岡崎市の鳥であるハクセキレイやサギ、スズメ、キジバト、ハシボソガラス、ムクドリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、カワウ、カイツブリ、カワセミなどが一年を通して見ることができます。また、夏にはツバメ、冬にはコガモ、モズ、ヒドリガモ、ツグミ、キセキレイなど多くの野鳥を見ることができます。



### みかちゃん

乙川が鯉が棲めるようなきれいな川であるようにということを願い、昭和45年に約4,000匹の鯉が放流されました。放流された鯉の子孫は「みかちゃん」という愛称のもと、現在も市民によって大切にされています。



### 潜水橋

車は走ることのできない人専用の人道橋です。低いところに架かっているため増水時には、手すり倒れるようになっています。川に近く、橋の上から鯉のみかちゃんに餌をやる子供たちの姿が多く見られます。



### 舟着き場

春から夏にかけて「岡崎城下舟あそび」の舟が発着します。岡崎城を眺めながら、乙川から伊賀川を通り再び乙川に戻ってくる周遊コースです。2つある船着き場はそれぞれ「岡崎城下船着き場」「東岡崎駅船着き場」と呼ばれています。



### 明代橋公園

オトリバーサイドテラス前に整備された「明代橋公園」は乙川に開けた芝生スペースとベンチがあります。川を眺めながら休憩したり食事を楽しむことができます。乙川沿いの歩道からは川が織りなす風景を楽しむこともできます。



### 吹矢橋公園

平成30年にリニューアルされた乙川沿いの広場です。遊具と広場があり、夕方には子供たちが遊ぶ声が響いています。また、公園沿いの歩道から岡崎城を一直線に眺めることができるスポットがあり、景観軸に定められています。

